

心の元気、体の元気支援者育成事業

東大和市レクリエーション協会

〒207-0013 東京都東大和市向原 6-936-10 コーポエイコー 205

助成事業の概要

本協会は地域における高齢者の健康と生きがい作りにレクリエーションという観点に関わっております。特にニュースポーツを通して高齢者の体力維持・向上には地域でも認められる活動を展開してきていると思います。しかしながら本レクリエーション協会の目指すレベルにはなかなか到達していないとも感じております。

特に様々な地区で「介護予防」の観点から小規模のサロンを開催したり、福祉施設でもレクの時間や担当者が配置されておりますが、多くは食事サービスや入浴の様にやるべき仕事の合間に行われる活動として位置づけられるております。甚だ残念と言わざるをえません。

もちろん食事や入浴は大事であることは論をまち

ません。しかしながらスポーツやレクリエーションをお座なりにし、楽しみや生きる喜びを後回しするのであるなら、人間として最も大切なものを抜け落ちているように思えるのです。

これにはスポーツやレクリエーションが正しく理解されていないことに起因すると思います。

今回の研修では

- ①スポーツやレクリエーションを正しく認識すること。
- ②スポーツやレクリエーションの効果を正しく伝えられること。
- ③現場できちんと実践できる技量を習得すること。

をめざした研修会を開催し、地域の高齢者には無くてならない協会や活動支援をしていきます。

事業の成果

【開催会場】 東大和市市民センターや会議室

【講習会概要】 下記の表

実施総括表

回数	実施日	曜日	テーマ	科目	講師名
1	9月9日	月	信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ 1/2	科目 4-I-1.2	大内 都子
2	10月14日	月 AM	良好な集団づくりの方法 1/2	科目 4-II-1.2	大内 都子
3		月 PM	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法 1/2	科目 4-III-1.2	高木 住子
4	11月11日	月	自主的、主体的に楽しむ力を高める展開方法 3/4	科目 4-III-3.4	飯坂 徳雄

回数	実施日	曜日	テーマ	科目	講師名
5	11月23日	土 AM	モデル・プログラムの習得 1/2	科目 5-I-1.2	飯坂 徳雄
6		土 PM	個々の活動の習得 1/2	科目 5-II-1.2	高木 住子
7	12月9日	月	個々の活動の習得 3/4	科目 5-II-3.4	大内 都子
8	1月13日	月 AM	個々の活動の習得 5/6	科目 5-II-5.6	大内 都子
9		月 PM	個々の活動の習得 7/8	科目 5-II-7.8	高木 住子
10	2月10日	月	安全管理の方法 / プログラムの立案 1	科目 6-I, II-1	大内 都子
11	2月22日	土	プログラムの立案 2.3	科目 6-II-2.3	飯坂 徳雄
12	2月24日	月 AM	レクリエーション支援の実施 1/2	科目 6-III-1.2	高木 住子
13		月 PM	レクリエーション支援の実施 3/4	科目 6-III-3.4	高木 住子
14	2月29日	金	レクリエーション支援の実施 5/6	科目 6-III-5.6	高木 住子
15	6月21日	日 AM	レクとレク・インストラクター 楽しさと心の元気づくりの理論 1	科目 1. 科目 2-I	飯坂 徳雄
16		日 PM	楽しさと心の元気づくりの理論 2 コミュニケーションと信頼づくりの理論	科目 2-II. 科目 3-I	飯坂 徳雄
17	6月28日	日 AM	良好な集団づくりの理論 / 自主的、主体的に楽しむ力を高める理論	科目 3-II, III	飯坂 徳雄
18		日 PM	特別指導 レクダンス指導法	レク実技指導法	鈴木 幸子

ただし、上記のプログラムは様々なサロンをはじめとする福祉現場での支援方法を想定して可能な限り実技演習を取り上げている。

これは「レクリエーション」をその場だけの一過性で終わらせるのではなく計画的でより支援の明確化されたプログラム構築のスキルアップを目指しているからです。

■ 成果の広報、公表

講師の先生には最終的に研修報告書を作成するの
でレジメをビジュアルにするように依頼しておいた。

その結果、別の講習会のテキストとしても利用できるものとなりました。

今後の活動時にはバイブル的に活用できるものです。

これらの冊子を市内の福祉施設及び行政、社会福祉協議会の担当者に配布します。

■ 今後の展開

今回の研修を機会にして継続的な研修の必要性に
気づき次年度も学習会を開催することが確認されている。

特に実際の指導にかかわる部分では

- ①レク支援のスキルが未熟である。このことの
自覚からもっと逐語プログラムをもとに研修
をかさねる。
- ②現場ではより具体的な支援を求められている
のでより詳しい勉強が必要である。

- ③支援者ネットワークを継続していく。
講習会終了するのではなく、レク協会のスタッフとして今後とも支援者のネットワークを作っていく。